

法人名	公益財団法人西成労働福祉センター
作成(所管課)	商工労働部雇用推進室労働環境課

## ○ 経営目標設定の考え方

### ミッション

○あいらん地域に集まる多様な支援を必要とする人々を「はたらく」を軸とした総合的なネットワークで支える関係機関と連携のもと就労支援や就労相談を効果的に実施することにより、労働者の就労安定と労働者福祉の増進を図る。

- 求職者の能力に合わせた中間的就労や短時間雇用へのマッチングなど、就労のグラデーションを描くようなきめ細かな支援を展開

- 担い手不足分野を中心に、人材育成機能の一翼を担うことで雇用創出につなげ、将来にわたり地域にとって欠かせない就労支援の拠点としての役割を果たす

#### ■ 大阪府の施策

- あいらん地域の労働対策

### 基本方針

1 多様な支援を必要とする利用者のワーキングネットの構築（他機関連携による総合支援）

- ① 高齢日雇労働者に対する職種転換講習を活用した安定就労への誘導
- ② 多様な支援を必要とする中高年層、女性、若者の就労困難者に対するカウンセリング等を活用した求職相談
- ③ 外国人労働者に対する求職相談及び働き続けるための環境づくり支援
- ④ 日雇労働を希望する人への就労支援

2 安心して就労できる環境づくり

- 日雇労働者だけではなく様々な労働者が安心して就労できる環境づくり（事業所支援・定着支援）
- ① 地域事業所の就労正常化
  - ② 多様な支援を必要とする利用者の積極的受入事業所の開拓
  - ③ 刑余者の積極的受入事業所の開拓
  - ④ 外国人労働者の積極的受入事業所の開拓

3 求人情報のさらなる発信

- 利用者に求められる求人情報のさらなる発信と不安を抱える求職者の窓口紹介への誘導
- ① センターナビの活用（夜間求人への解消にむけて）
  - ② LINEによるタイムリーな情報発信
  - ③ 外国人労働者が活用できる求人情報の発信
  - ④ SNSを活かした就労サポート
  - ⑤ きめ細やかな窓口紹介

4 公益財団法人としてのガバナンスの適正化

- ① 生活困窮者をはじめとした多様な支援を必要とする利用者に対応した支援体制の確立を図る
- ② 法人の健全性及び自立性の向上

### 戦略目標と成果測定指標【中期経営計画上の目標値】

① 多様な支援を必要とする利用者のワーキングネットの構築（他機関連携による総合支援）

- 総合支援対応件数  
【127件(R7実績)→175件(R12)】
- カルテ件数  
【12,055件(R7実績)→17,000件(R12)】
- 通常窓口の現金求人数  
【1,387人(R7実績)→1,400人(R12)】

② 安心して就労できる環境づくり

- 外国人も働きやすい職場環境の整備を行っている事業者の確保  
【5社(R7実績)→累計30社(R12)】

③ 求人情報のさらなる発信

- センターナビ利用者のリピート人数  
【3,514人(R7実績)→10,250人(R12)】

④ 公益財団法人としてのガバナンスの適正化

- 補助金以外の収入の確保（技能講習事業を除く）

○ 令和7年度の経営目標達成状況及び令和8年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)													
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 実績値	R7 目標値	R7 実績値 【見込値】	R7 ウエイト	R7 得点	R8 目標値	R8 ウエイト	中期経営計画 (R8～R12)		R8目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
											R8 目標値	最終年度 目標値	
① 多様な支援を必要とする利用者のワーキングネットの構築(他機関連携による総合支援)	総合支援対応件数	☆	件	-	-	(127)	-	-	135	30	135	175	①あいりん地域の近年の状況については、日雇労働者の高齢化がすすむとともに複合的な課題を抱える生活困窮者や外国人などの流入が増加したことにより、これまで以上に多様な支援が必要とされている。 ②従来の就職相談に留まらず、住まいや食事、病氣、言語等の生活全般を含む複合的な対応が求められている。相談者に寄り添い組織内では係・課を超えての連携支援やセンター内部だけでは解決が難しい課題に対しても専門対応ができる他機関との連携を行い、職員が相談者とともに、ひとつずつ課題を紐解き、その解決をめざす。 ③この状況に対応するため、相談に来た利用者の主訴を丁寧に聞き取り、その解決に向けた支援を適正に行った件数を目標数値とする。 ④繰り返し来所する利用者に相談対応を行った延べ人数も、上記①により増加が見込まれるため、そのボリューム感を今回の指標とした。 ⑤毎年10件ずつの増加を目標とした中期運営方針を踏まえ、令和8年度の目標値を135件に設定する。
窓口(契約)紹介数の増加	雇用条件の向上を図った求人紹介件数		件	1,856	2,300	×1,549	30	0	-	-	-	-	-
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)												戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、経営上の位置付け	<p>【理由】 あいりん地域の近年の状況については、日雇労働者の高齢化がすすむとともに複合的な課題を抱える生活困窮者や外国人などの流入が増加したことにより、これまで以上に多様な支援が必要とされている。従来の就職相談に留まらず、住まいや食事、病氣、言語等の生活全般を含む複合的な対応が求められているため。</p> <p>【位置付け】 当法人では、「あいりん地域における労働者の職業の安定」を目標に掲げている。「再チャレンジ可能なまちづくり」に向けた取り組みが地域一丸となって行われているなか、当法人は「(就労版)再チャレンジ可能な職業紹介所」を目指しており、生活保護に至るまでに、本人の課題を把握し、就労を切り口として必要な支援につなげるワーキングネットの構築をめざすこととしている。</p>												
最重要目標達成のための組織の課題、改善点	<p>【組織の課題】 &lt;総合支援対応&gt; ・来所する相談者の相談内容の多様化が進んでいる。従来の就労相談にとどまらず、生活全般を含む複合的な対応が求められている。</p> <p>&lt;カルテ入力&gt; ・相談内容や対応した内容について、対応した職員がカルテにリアルタイムで入力する必要がある。</p> <p>【改善点】 &lt;総合支援対応&gt; ・相談内容の多様化に伴い、センター内部だけでは解決が難しい課題に対して、専門対応ができる他機関と連携を行う。</p> <p>&lt;カルテ入力&gt; ・職員間で共有する必要がある事項に関しては、簡潔にまとめて対応直後に入力し、各職員は随時カルテ内容をチェックする。</p>												
活動方針	<p>【広報活動】 ・当法人について、広く広報する。ホームページやセンターナビを活用する。 ・求人開拓した事業者の求人票や高齢者が応募可能な求人情報について、積極的に掲示するなど広報を強化する。</p> <p>【総合支援対応件数の要件事項】 ・相談者から聞き取った課題に対し、他機関連携が必要と判断したケースをいい、複数の課題があり、連携先が複数であっても、1件とする。 ・また、センターの独自資源を活用するなど特段の配慮を必要としたケースをいう。</p>												
<p>1 当法人単独では解決できない利用者の多様な課題や関係機関からの協力依頼を積極的に受け入れる。 2 関係機関などの役割を踏まえつつ、緊密に連携することを強化する。 3 高齢日雇労働者の安定就労に向けて、清掃や運輸、介護等といった人材不足分野で活躍できる労働者を養成するため、職種転換講習を活用する。 4 多様な支援を必要とする中高年層、女性や若者に対するカウンセリング等を活用した求職相談を行い、ハローワークと連携した、地域に密着した職業紹介への誘導を行う。 5 外国人労働者に対する求職相談及び働き続けるための環境づくりを支援するため、留学生など様々な就職要件にあった職業紹介や必要な就労資格の取得・更新援助・就職のための阻害要因の緩和援助等を行う。 6 日雇労働を希望する人への就職支援するため、通常窓口での現金求人を確保する。</p>													

## II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 実績値	R7 目標値	R7 実績値 【見込値】	R7 ウエイト	R7 得点	R8 目標値	R8 ウエイト	中期経営計画 (R8～R12)		R8目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の 場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
											R8 目標値	最終年度 目標値		
① 多様な支援を必要とする利用者のワーキング ネットの構築(他機関連携による総合支援)	カルテ件数	☆	件	(11,409)	-	(12,055)	-	-	13,000	10	13,000	17,000	毎年1,000件ずつの増加を目標とした中期 運営方針を踏まえ、令和8年度の目標 値を13,000件に設定する。	・総合相談対応中の進捗状況について、誰もが適時適切に対応 が可能となるようカルテ入力を行うよう徹底する。
	通常窓口の現金求人件数	☆	人	(1,155)	-	(1,387)	-	-	1,400	15	1,400	1,400	令和7年度の通常窓口の現金求人件数 1,387人を維持することを目標とした中期 運営方針を踏まえ、R8目標値を1,400人 に設定する。	・早期、地域に求人に来てくれる事業者へ、次の日の現金求人 を通常の窓口時間に出すよう協力依頼を行う。 ・受理した求人を大型モニターや当法人の求人サイト、LINEなど で情報発信し、求職者を窓口へ誘導していく。
② 安心して就労できる環境づくり	外国人も働きやすい職場環境の整備を行っている事業者 の確保	☆	社	-	-	(5)	-	-	10	15	10	30	毎年5社ずつの増加を目標とした中期 運営方針を踏まえ、R8目標値を10社 に設定する。	・登録支援機関として培ったノウハウを生かし、関係機関とも連携 しつつ、働きやすい職場環境の整備をサポートし、外国人も働き やすい事業者の確保を図る。 ・母国語の就業規則作成援助や日本人との賃金格差の解消など を依頼し、環境を整えてもらう。
③ 求人情報のさらなる発信	センターナビ利用者のレポート件数	☆	人	(2,182)	-	(3,514)	-	-	4,850	20	4,850	10,250	毎年1,350人ずつの増加を目標とした 中期運営方針を踏まえ、R8目標値を 4,850件に設定する。	・リピーターとなり得るユーザーを増加させるため、宣伝用動画を 作成し、SNSで発信する。 ・センターナビを一見ではなく、繰り返し利用する者を増加させる ため内容の充実や適宜改修を行うことで、利用者の安定化を 図り、センターナビを通じた求人求職活動の利用促進を図る。
窓口(契約)紹介数の増加	窓口(契約)求人の紹介総数		人	3,009	3,146	×1,791	5	0	-	-	-	-	-	-
技能・資格取得の支援による安定就労	就労ナビ・センター紹介による安定的雇用件数		件	23	25	26	25	25	-	-	-	-	-	-
支援能力の向上	就労支援、事業所支援に関する資格の取得(累計)		件	11	13	13	10	10	-	-	-	-	-	-
他機関連携	新規他機関連携件数		件	115	125	127	20	20	-	-	-	-	-	-

## III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 公益財団法人としてのガバナンスの適正化	補助金以外の収入の確保(技能講習事業を除く)	☆	千円	(604)	-	(2,033)	-	-	3,994	10	-	-	法人の健全性及び自立性の向上を図 るため、登録支援機関事業の収入を 増加(8名×30,000円×12か月)、 自動販売機売上収入等を設定した。	・技能講習事業を除く収益について、登録支援機関事業に加え、パ ナー広告料やコインロッカー設置、寄付金などの可能性を探り、実現性 の高いものを精査し実施。 ・登録支援機関事業については、現在支援を行っている事業者で働く 外国人の中で新たに支援が必要な者の聞き取りや同業他社で必要と している事業者の推薦などを通じ、新たな収入の増を図る。
健全性及び効率性の向上	補助金比率の削減 (補助金/経常収益)		%	86.7	85.0	×85.8	10	5	-	-	-	-	-	-

R7得点合計 【見込得点合計】	60
--------------------	----

【凡例】  
 ・☆はR8年度からの新規項目  
 ・×は目標値未達成  
 ・↓は前年度実績比マイナスの目標値  
 ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値  
 ・( )内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

法人名

公益財団法人西成労働福祉センター

## CS調査の実施概要

### ○令和7年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
技能講習資格取得満足度	面談・電話・ハガキによる聞き取り調査	技能講習受講終了後、3か月を経過した者	年間269人	令和7年7月より令和8年3月まで

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<p>令和7年度の実施結果は、受講者数：280人、修了者数：269人。                      受講修了者に対して、受講終了後の3か月後にアンケートを実施。厚生労働省からの要請である就労状況の確認に加えて、安定的就労へつなぐためのフォローとして、満足度、常用就職への取り組み状況、将来の希望、センターへの要望を聞き取っている。                      令和7年度の3か月アンケートの結果をみると、資格取得により「役に立った」との回答は89.2%を占めた。回答者総数194名のうち、173名が「役に立った」と回答しており、その理由を複数回答で尋ねると、「業者からの評価(信頼)が高まった」72件、「就職活動を積極的に行うようになった」67件、「働く機会が取得前より増えた」62件、「新しい現場に入れるようになった」と「仕事場で危険予知行動を積極的に行うようになった」が59件、「職種が広がり付き合う業者所が増えた」37件、「賃金など労働条件が良くなった」24件、「正社員になった」10件となっている。</p>	<p>(結果を踏まえ実施した取組)                      CS調査に設定した内容は、日雇労働者等技能講習事業の仕様書において、就業率(就業率とは：受講を修了した日が属する月の翌月から3か月間に月13日以上就業した日が2月以上ある日雇労働者の割合)の報告が義務づけられているものをベースとして、資格取得後の就業状況や満足度・取得後のフォローに資するよう項目を設定し聞き取りを行っているものである。令和7年度は、令和6年度調査結果を踏まえ、「熱中症予防安全衛生教育」を新設し、熱中症による死亡者の約半数を建設業が占めていることから、予防可能として厚生労働省推奨カリキュラムを実施した。</p> <p>(今後実施予定の取組)                      令和7年度聞き取り結果を踏まえ、令和8年度の事業計画や受講科目の設定に反映する。随時受付の一層の推進により事業所と受講者の利便性の向上を図り、引き続きLINE公式アカウントを通じた広報の強化を重点的に取り組み、就労ナビゲーターの活用やアフターフォローの充実を図り、就労の安定を目指す。</p>

### ○令和8年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
技能講習資格取得満足度	面談・電話・ハガキによる聞き取り調査	技能講習受講終了後、3か月を経過した者	年間200人	令和8年7月より

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人西成労働福祉センター
-----	------------------

[1]

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
雇用条件の向上を図った求人の紹介件数	件	2,300	1,549	△ 751

未達成の要因				要因分析(要因と考える根拠)					
①	<p>・窓口(契約)求人の紹介数自体が大幅に減少したため、目標達成に至らなかった。</p>			<p>・令和7年度の実績値1,549件は、令和6年度実績値1,856件より下回ったものの、窓口(契約)求人の紹介数に対する割合は上回った。しかし、紹介数全体が大幅に減少したため、目標達成には至らなかった。</p> <p>令和6年度窓口(契約)求人の紹介数:3,009件 雇用条件向上紹介数:1,856件 割合:61.7%</p> <p>令和7年度窓口(契約)求人の紹介数:1,791件 雇用条件向上紹介数:1,549件 割合:86.5%</p> <p>・これまで雇用条件の向上要件の実績の多かった項目を重点的に提案した結果、「未経験者の受入れ」は、令和6年度30件であったのに対し、令和7年度は335件と約11倍になったが、「賃金向上」と「宿舍改善」は向上に限界があり令和6年度を大幅に下回る結果となった。</p> <p>・「刑余者の受入れ」は令和6年度実績0件だったが、保護観察所との連携強化により、295件と増加したが、目標達成には至らなかった。</p>					
	関連項目名	窓口(契約)求人の紹介総数	単位	件	R7当初想定値	3,146	R7実績値	1,791	差



要因分析を踏まえた今後の対応
<p>日雇求人の安定就労へのステップとして、1日単位の就労(現金求人)ではなく、宿舍が完備された週単位の窓口(契約)求人のうち、「雇用条件が向上した」窓口(契約)紹介の増を目標に掲げたが、週単位の窓口(契約)求人・紹介による宿舍での拘束を嫌い通勤(1日1日の現金求人)を望む労働者の傾向は依然根強く令和7年度も目標値に至らない見込み。</p> <p>なお、一方で、人材不足による人材確保を望む事業者は増え、宿舍環境の充実も進んでおり、窓口(契約)求人数やそのうちの明らかに雇用条件が向上した窓口(契約)求人数も一定確保できている状況である。</p> <p>上記を踏まえ、今後の目標値とはしないが、引き続き、明らかに雇用条件が向上した窓口(契約)求人を求職者にアピールし紹介数の増加を図っていく。</p>

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人西成労働福祉センター
-----	------------------

[2]

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
窓口(契約)求人の紹介総数	人	3,146	1,791	△ 1,355

未達成の要因				要因分析(要因と考える根拠)					要因分析を踏まえた今後の対応	
①	求職者全体および窓口(契約)求人を希望する求職者の減少			<p>・日雇労働者の仕事の大半を占める建設業界においては、慢性的な人手不足が続いており、求職者にとって仕事を選択する自由度が高まっている。このことは、労働力の確保を図るため宿舎に労働者を確保したい求人者に不利な状況となっている。よって、求職者は、下記の理由により自由な環境下で働くため、契約求人より現金求人の需要が伸びており、これに合わせ、求人者も現金求人でも募集するため、現金求人数の増加に繋がった。</p> <p>令和6年度と令和7年度の延べ数比: 3,924、4,388(11.8%増)</p> <p>・あいりん地域における日雇労働者の高齢化等により、求職者自体が昨年度よりも減少となった。</p> <p>令和6年度 求職者: 4,558人 令和7年度 求職者: 3,865人</p> <p>・「窓口(契約)求人の紹介総数」は、求職者が事業者の宿舎に住み込み就労する形態の求人内容となっているが、居所を構えており、家賃と宿舎費の二重払いや食事時間や就寝時間などが拘束されることを嫌う求職者が多く、通勤日払いの現金求人のニーズが高まり、目標達成に至らなかった。</p> <p>令和6年度 契約求人紹介数: 3,009人 令和7年度 契約求人紹介数: 1,791人</p>					<p>・新たに地域に流入してきた人は、地域独特の相対方式の現金求人にも慣れないため、その方たちの支援のための新たな成果指標として「通常窓口の現金求人数の維持」に変更する。</p> <p>・契約求人については、目標値にはしないが、SNSやセンターナビで幅広く求人情報等を広報し、窓口へと誘導し、雇用条件向上も含めた紹介を継続していく。</p>	
	関連項目名	求職者数	単位	人	R7当初想定値	4,558	R7実績値	3,865	差	△ 693

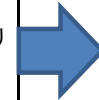
■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人西成労働福祉センター
-----	------------------

[3]

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
補助金比率の削減(補助金/経常収益)	%	85.0	85.8	△0.8

未達成の要因		要因分析(要因と考える根拠)							
① 委託収益の減少	<p>・技能講習委託費(11,000千円減) 働き方の多様化により一人親方など請負として働くものや社会保険の適用が求められる中で、日雇労働ではなく、正社員化される労働者も増え、技能講習事業の対象者となる日雇労働者数そのものが減少しているなかで、申込みと選考を同時に行い、決まった受講日に講習機関で受講する「随時受付方式」を設定することで受講者の利便性に取り組んだものの、昨年度実績値と横ばいとなった。 この結果、当初予算で計上していた収益より11,000千円の減少となり、目標を達成できなかった。</p> <p>○令和6年度 受講計画数320人 受講実績数283人 受講率88.44% 当初予算(50,428千円)と委託収益(38,480千円)の差額△11,948千円</p> <p>○令和7年度 受講計画数300人 受講実績数280人 受講率93.33% 当初予算(50,354千円)と委託収益(39,709千円)の差額△10,645千円</p> <p>R7補助金(予算)/R7経常収益(想定) 290,513千円/346,829千円(83.8%)</p> <p>R7補助金(実績)/R7経常収益(実績) 267,509千円/311,774千円(85.8%)</p>								
	関連項目名	委託収益	単位	千円	R7当初想定値	56,316	R7実績値	44,094	差



要因分析を踏まえた今後の対応
<p>全ての講習を「随時受付方式」として実施し、利便性の充実を一層を図り、これまでホームページやLINE公式アカウント、センターナビの利用者にも受講を促すため、LINE公式アカウントとセンターナビを活用した広報を積極的に行なった。</p> <p>しかしながら、今後も日雇労働者数そのものの減少は続くと考えられ、受講者の増加に向けて取り組むものの、次年度以降の目標値としては、登録支援機関事業や寄付金など(バナー広告料、コインロッカー設置など)の可能性を探り、実現性の高いものを精査し実施することで、新規収益の増額を図ることを目指し、法人の健全性及び自立性の向上を図りたい。</p>

法人名	公益財団法人西成労働福祉センター
-----	------------------

■ 成果測定指標変更(廃止)希望の理由について

[1]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
新規他機関連携件数	件	125

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
総合支援対応件数	件	135

成果測定指標の  
変更(廃止)を  
希望する理由

あいりん地域の近年の状況については、日雇労働者の高齢化がすすむとともに複合的な課題を抱える生活困窮者や外国人などの流入が増加したことにより、これまで以上に多様な支援が必要とされている。  
従来の就職相談に留まらず、住まいや食事、病気、言語等の生活全般を含む複合的な対応が求められている。相談者に寄り添い組織内では係・課を超えての連携支援やセンター内部だけでは解決が難しい課題に対しても専門対応ができる他機関との連携を行い、職員が相談者とともに、ひとつずつ課題を紐解き、その解決をめざす。  
この状況に対応するため、相談に来た利用者の主訴を丁寧に聞き取り、その解決に向けた支援を適正に行った件数を目標値とする。

[2]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
雇用条件の向上を図った求人の紹介件数	件	2,300
窓口(契約)求人の紹介総数	件	3,146

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の  
変更(廃止)を  
希望する理由

当法人において多くを占めている日雇求人については、1日単位の就労が典型的な形態であるが、翌日には新たな就労先が必要となる極端な不安定就労でもあり、前中期運営方針では、安定就労のステップとして週単位の窓口(契約)求人の増加を目指した。また、雇用条件の改善の余地がある求人が依然として多い状況にあったことから、働きやすい環境の求人を求職者に提供できるよう「雇用条件の向上を図った求人」への紹介数を目標として掲げた。  
しかし、住み込んでの契約求人は食事や就寝など時間の拘束等があり避けられるようになり、通勤日払いの現金求人のニーズが高まっていることなどから、令和8年度より個別の指標としては廃止し、中期運営方針を踏まえた新たな指標を設定する。  
なお、今後の目標値とはしないが、引き続き、明らかに雇用条件が向上した窓口(契約)求人を求職者にアピールし紹介数の増加を図っていく。

■ 成果測定指標変更(廃止)希望の理由について

[3]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
就労ナビ・センター紹介による安定的雇用件数	件	25

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の変更(廃止)を希望する理由	<p>技能・資格取得の支援による安定就労については、2021年度から5年間の中期運営方針を通じて毎年目標値を達成していることから、成果測定指標としては廃止する。技能・資格取得の支援と就労ナビ等を活用した支援は引き続き行い、目標数値にかかわらず安定就労人数の増加をめざしていく。</p>
----------------------	--

[4]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
就労支援、事業所支援に関する資格の取得(累計)	件	13

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の変更(廃止)を希望する理由	<p>前中期運営方針では、様々な課題を要する就労困難者が増加し、その相談に適切に対応するため、専門的知識に裏付けされた支援体制が必要となっていた。そこで、職員の相談能力向上を図ることとし、専門的資格の取得職員数累計13人の目標を掲げ、達成したため、次年度以降の目標設定はしないが、職員の相談能力向上を継続し行う。</p>
----------------------	--

■ 成果測定指標変更(廃止)希望の理由について

[5]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
補助金比率の削減 (補助金／経常収益)	%	85.0

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
補助金以外の収入の確保 (技能講習事業を除く)	千円	3,994

<p>成果測定指標の 変更(廃止)を 希望する理由</p>	<p>今後も日雇労働者数そのものの減少は続くと考えられ、受講者の増加に向けて取り組むものの、次年度以降の目標値としては、技能講習事業を除く収益について、登録支援機関事業に加え、寄付金など(バナー広告料、コインロッカー設置など)の可能性を探り、実現性の高いものを精査の上実施し、法人の健全性及び自立性の向上を図りたい。</p>
---------------------------------------	--

[6]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
/		

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
/		

<p>成果測定指標の 変更(廃止)を 希望する理由</p>	<p style="text-align: center;">/</p>
---------------------------------------	--------------------------------------